

地域カルテ

東部地域

対象地域：岡1～3丁目、根岸台1～8丁目、仲町1・2丁目、大字岡大字根岸、大字台、大字溝沼の一部



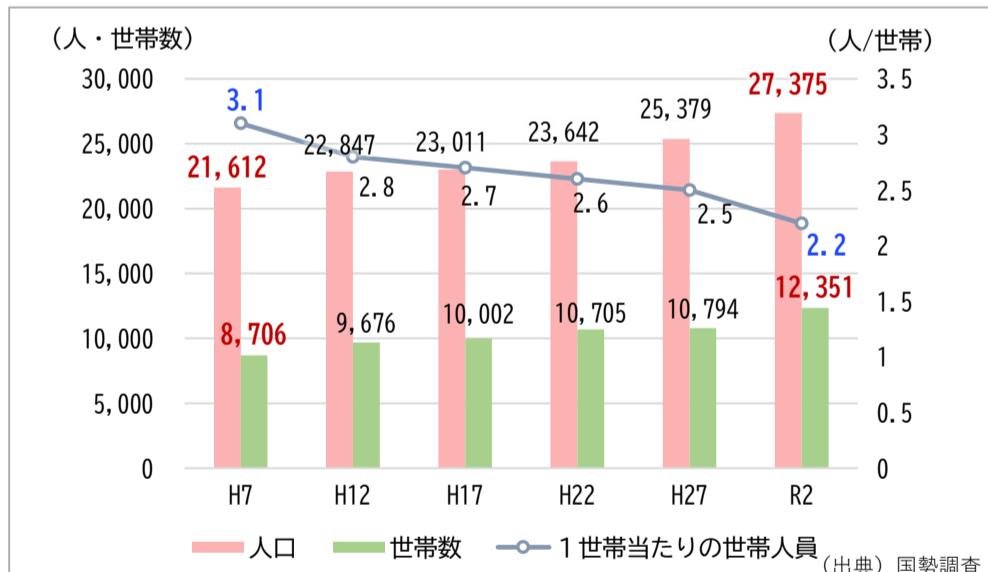
- 5つのテーマ
- 暮 私らしい暮らし
- 賑 にぎわい・活力
- 移 快適な移動
- 続 持続可能
- 安 安全安心

基 基礎

人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は増加傾向にある。R2の「老人人口（65歳以上）」は、H12年（20年前）から約2.2倍に増加しており、R2時点では東部地域の人口の20%を占める。 岡1丁目、根岸台3丁目、根岸台7丁目において、H22～R2にかけて人口が500人以上増加している。また、東武東上線沿いの朝霞駅寄りは人口密度が高い。 世帯数は増加傾向にあるが、1世帯当たりの世帯人員は減少傾向にある。
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 「平日に、食料品や日用品を買う場所」が地域内（「自宅から徒歩・自転車で移動できる範囲」及び「朝霞駅周辺・市役所周辺」）の人が63%、「よく行く病院や診療所」が地域内の人々が59%であり、日常的な生活行動を地域内で行う人が大半である。一方、休日の外食を「市外」でしたい人は53%である。 大切に思う場所を聞いたアンケートでは、「自然」に関する項目が上位を占める。近くの地域にあったらいいと思う場所を聞いたアンケートでは、「飲食」に関する項目が上位を占める。 市全域と東部地域の「通勤・通学」の交通手段の割合に大きな差はない。「買い物等の日常生活の交通手段（平日）」としては市全域、東部地域ともに「徒歩」での移動の割合が高い。
用途地域	<ul style="list-style-type: none"> くまみちモール朝霞周辺と朝霞駅周辺は商業系の用途が指定されている。
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 地域内全体に「その他の空地」が点在しており、沿道沿いに「商業用地」が点在している。 市街化区域内でも「畠」などの農地が点在しており、「畠」が占める割合は、市全域より東部地域のほうが高い。 東部地域の土地利用は、H23～R2にかけてほぼ変化していない。 東武東上線、黒目川や坂道で他地域と分断されている印象がある。
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> 都市施設は朝霞駅周辺に集中している。 「幼稚園・保育所等」は他の施設よりも地域内に分散している。 公園の誘致圏にカバーされていない地区もある。
ハザードマップ	<ul style="list-style-type: none"> 地域内の北側には洪水浸水想定区域内があり、区域内に小学校が立地している。 地域内の東側には「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」がある。 地域内外を結ぶ緊急輸送用道路が指定されている。
道路の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路に歩道が整備されていない箇所がある。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 地域内はバス停300m圏にほぼカバーされているが、根岸台7丁目は一部空白地区が存在する。（現在わくわくワゴン実証運行中）
市道事故	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故は、中央通り沿道で多く発生している。

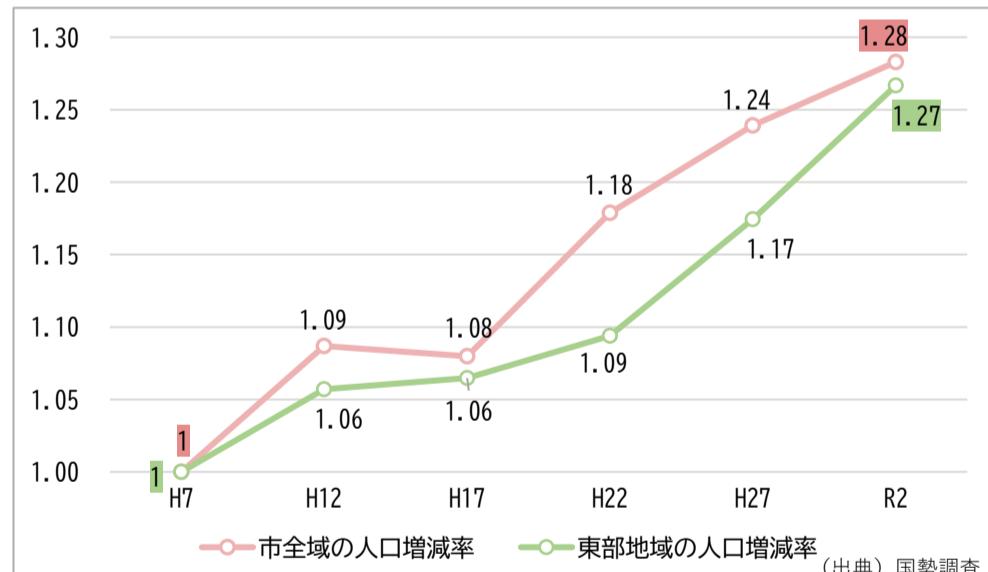
基 人口

■ 人口増減



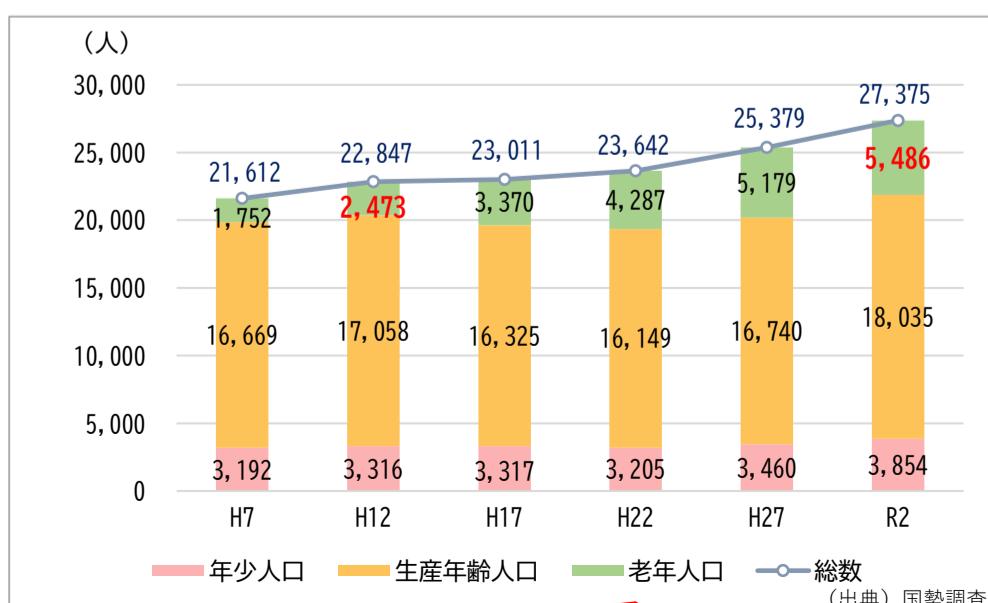
人口と世帯数はともに増加しているが、1世帯当たりの世帯人員は減少している

■ 人口増減 ※H7の人口を1とした場合



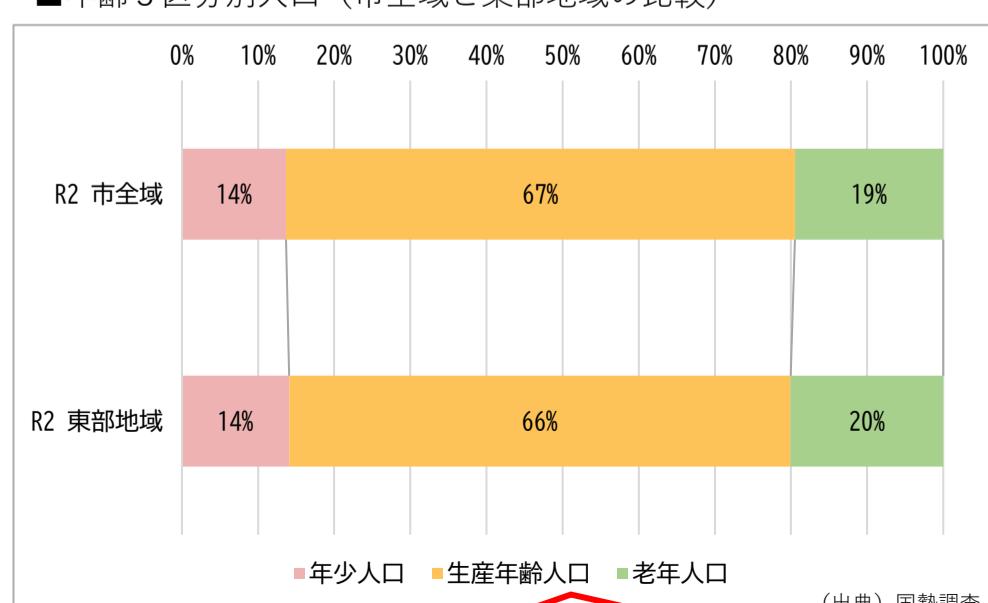
市全域、東部地域ともに人口は増加している

■ 年齢3区分別人口



R2の老人人口はH12（20年前）から約2.2倍に増加している

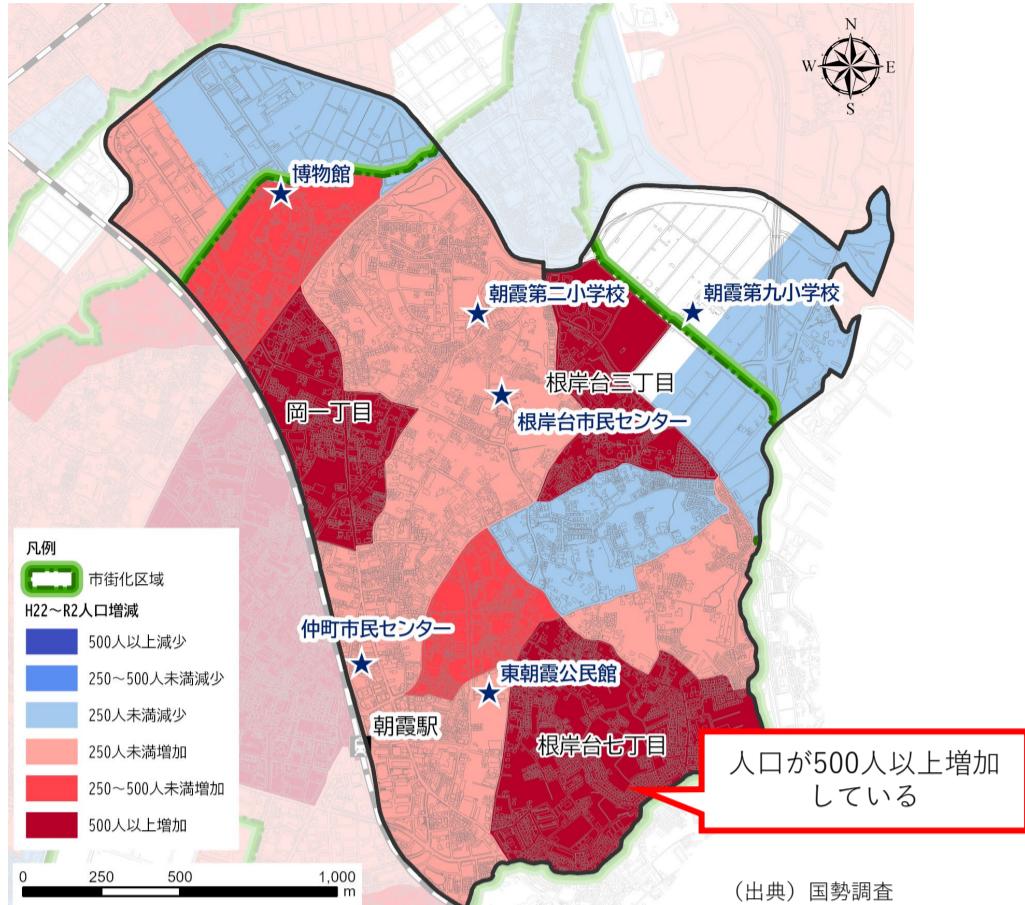
■ 年齢3区分別人口（市全域と東部地域の比較）



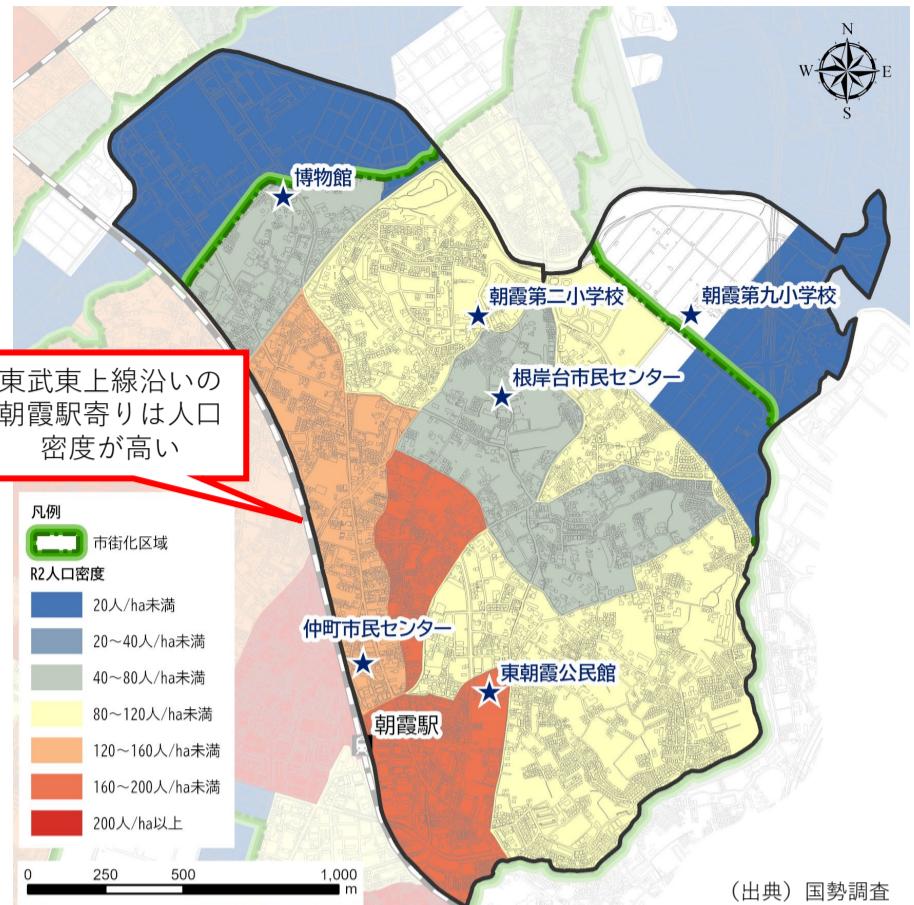
市全域、東部地域で3区分別人口の内訳はほぼ同じ割合である

基 人口

■ 人口増減



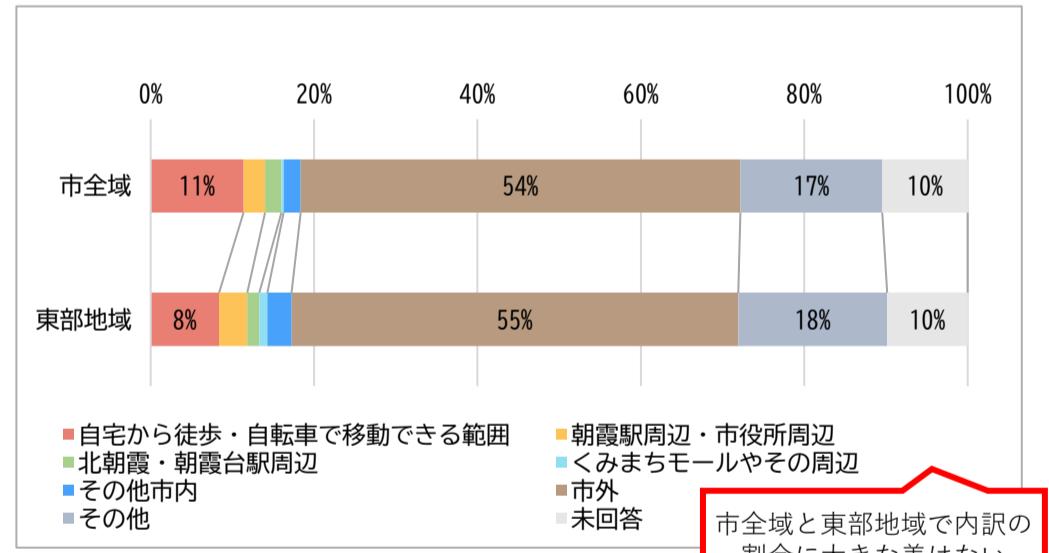
■ 人口密度



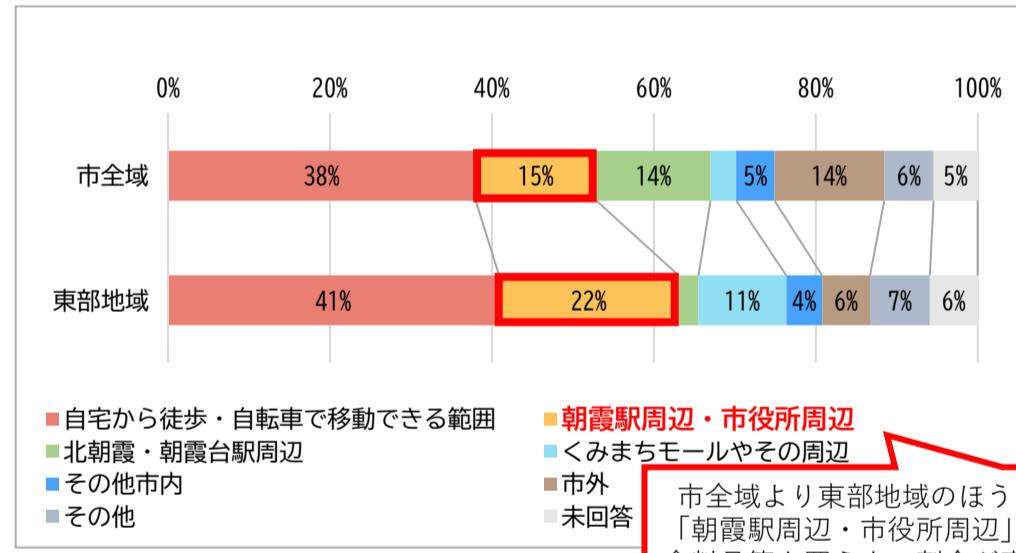
基 暮 市民アンケート（一部抜粋）

概要	【実施期間】 令和6年3月25日（月）～令和6年4月30日（火）
	【対象者 / 対象人数】 市内在住の18歳以上 / 3,000人（無作為の抽出）※Webでの調査も実施しました。
	【目的】 令和8年度からの次期計画を、より市民の暮らしに寄り添った計画とするために現在の状況や将来のニーズを把握する
	【内容】 「暮らし方（活動）」と「住まい方」について
回収状況	市全域：1,105件 / 東部地域：203件

■ 通勤・通学先の場所



■ 平日に、食料品や日用品を買う場所

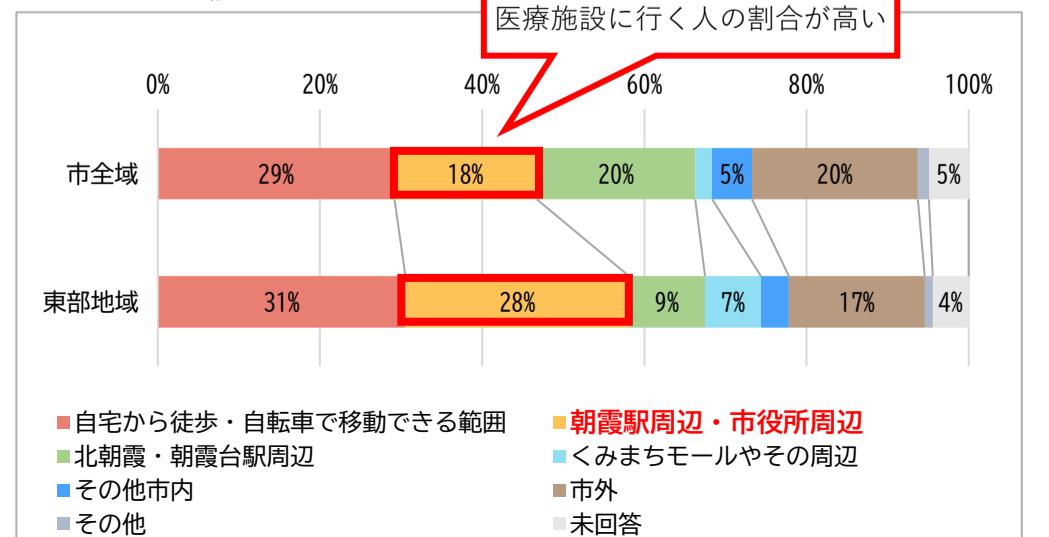


■ 大切に思う場所（複数選択可）

- 1位 朝霞駅周辺（店舗や飲食店等含む）：89票
 - 2位 黒目川：80票
 - 3位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園：71票
 - 4位 公共施設（図書館、体育館、博物館等）：53票
 - 5位 私の家のまわり：51票
- ※未回答を除く

「自然」に関する項目が上位を占める

■ よくいく病院や診療所

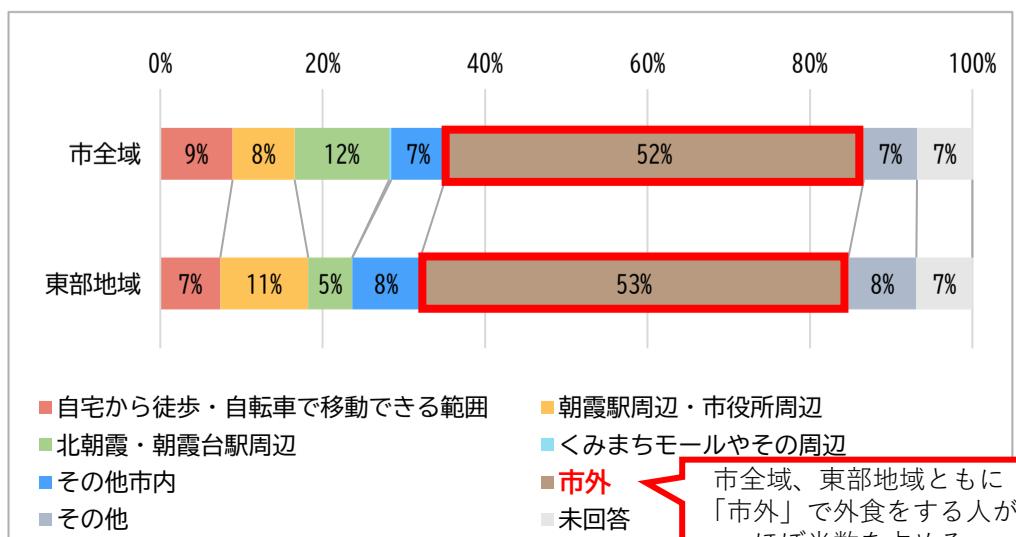


■ 住まいの近くの地域にあつたらいいと思う場所（複数選択可）

- 1位 買い物ができる場所（スーパー・コンビニ等）：75票
- 2位 飲食ができる場所：61票
- 3位 買い物ができる場所（デパート・大規模ショッピングモール）：55票
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所：44票
- 5位 子供が安心して遊べる場所：43票

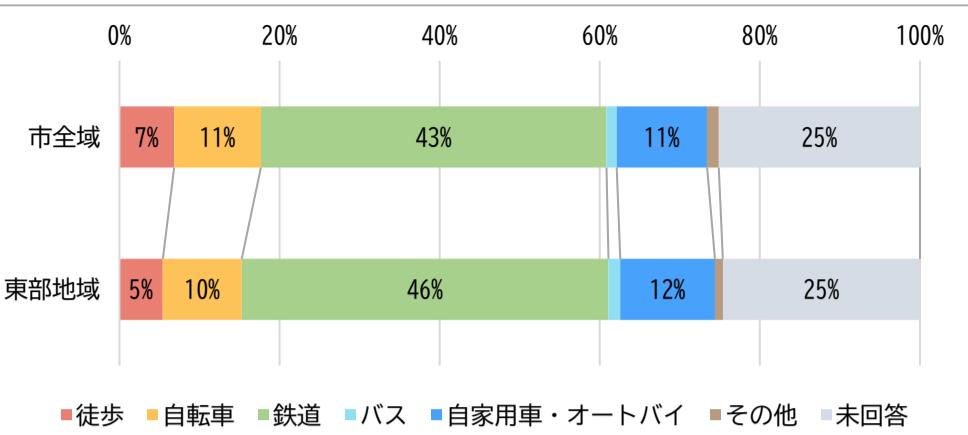
「買い物」「飲食」に関する項目が上位を占める

■ 休日に家族や友人とゆっくり外食をしたい場所



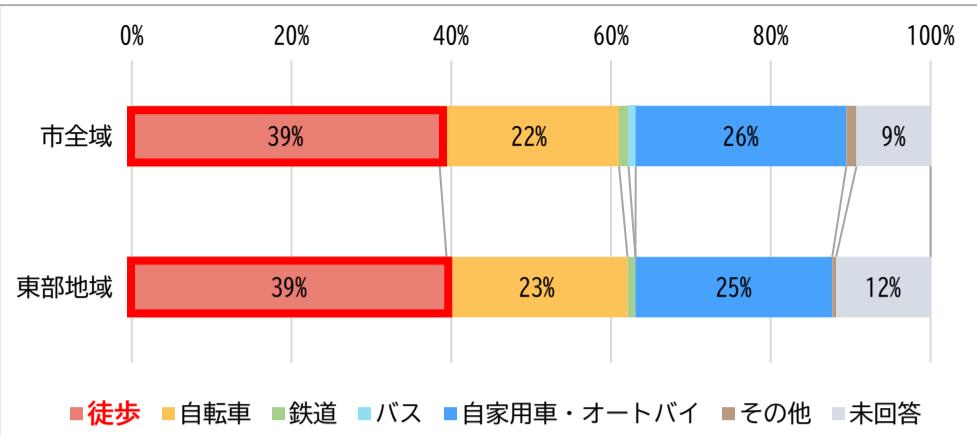
基 基 市民アンケート（一部抜粋）

■ 通勤・通学の交通手段（平日）



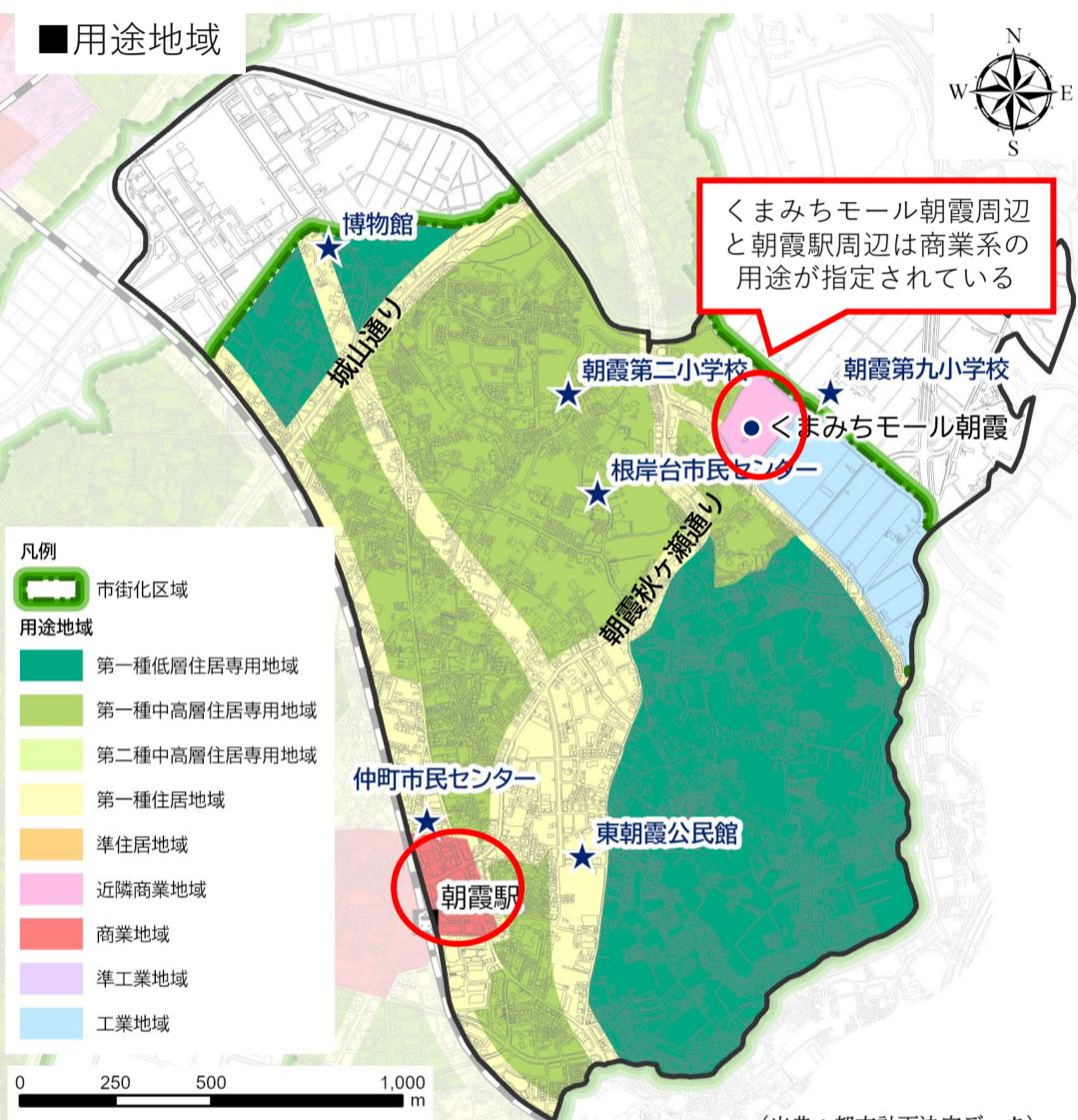
市全域と東部地域で内訳の割合に大きな差はない

■ 買い物等の日常生活の交通手段（平日）



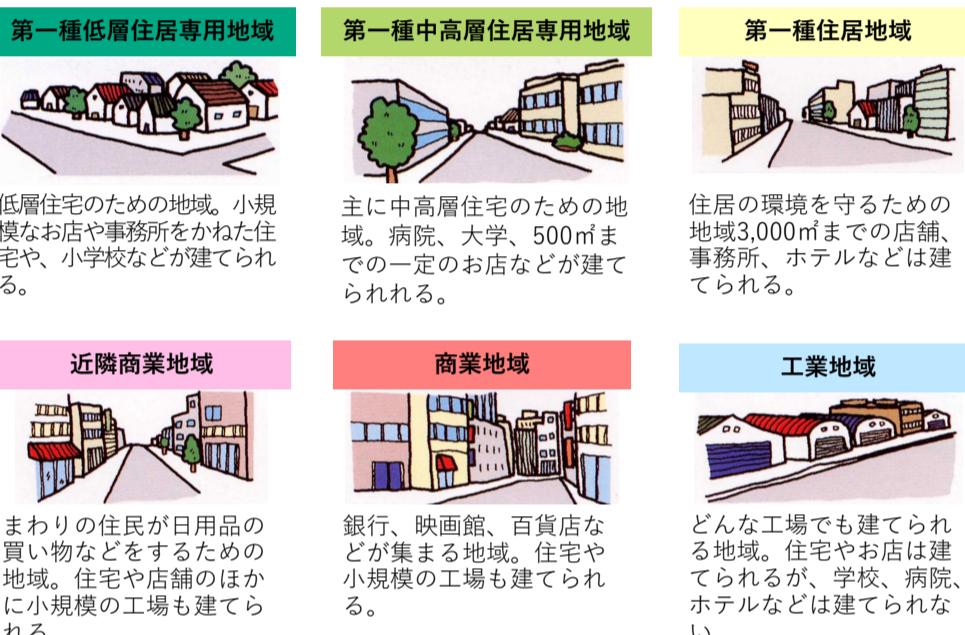
市全域、東部地域ともに「徒歩」で移動する割合が高い

基 用途地域

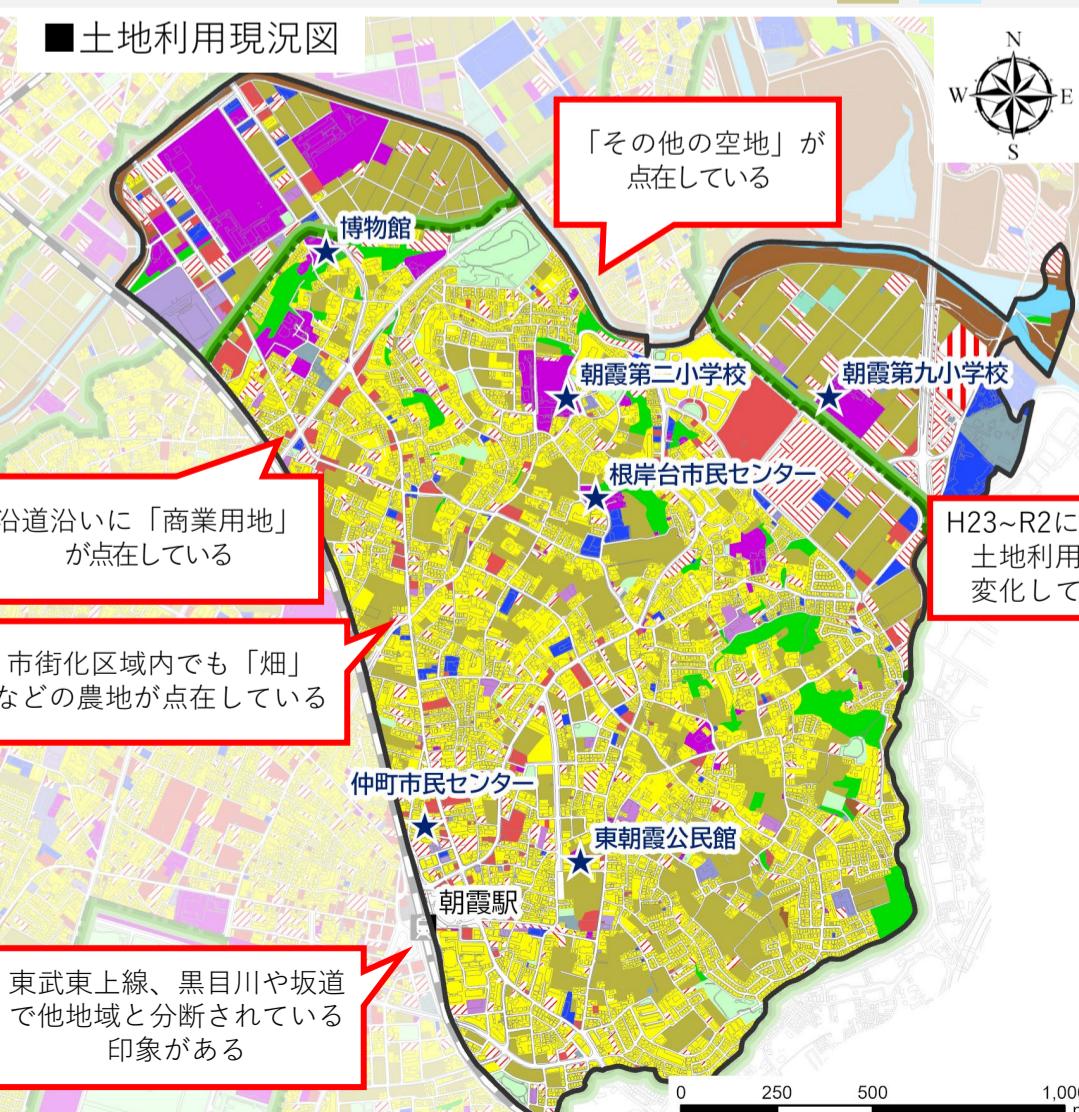


(出典：都市計画決定データ)

用途地域とは、市街地の環境を維持増進するために、市街地を13種類に分類し、それぞれに建てられる建物の用途などを定めた規制のことです。東部地域では6つの用途が定められています。

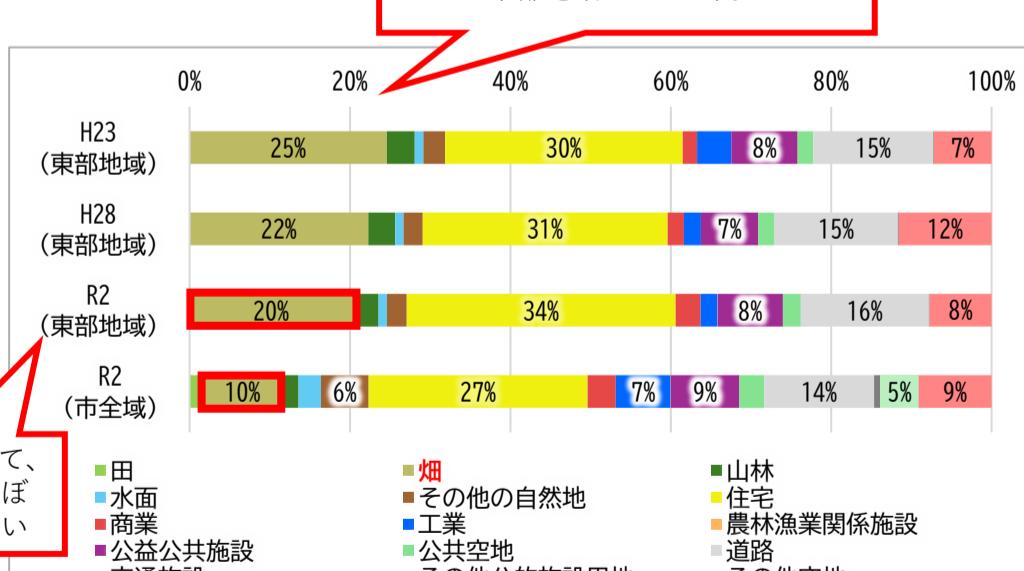


基 続 土地利用



(出典：R2都市計画基礎調査)

■ 土地利用現況の割合

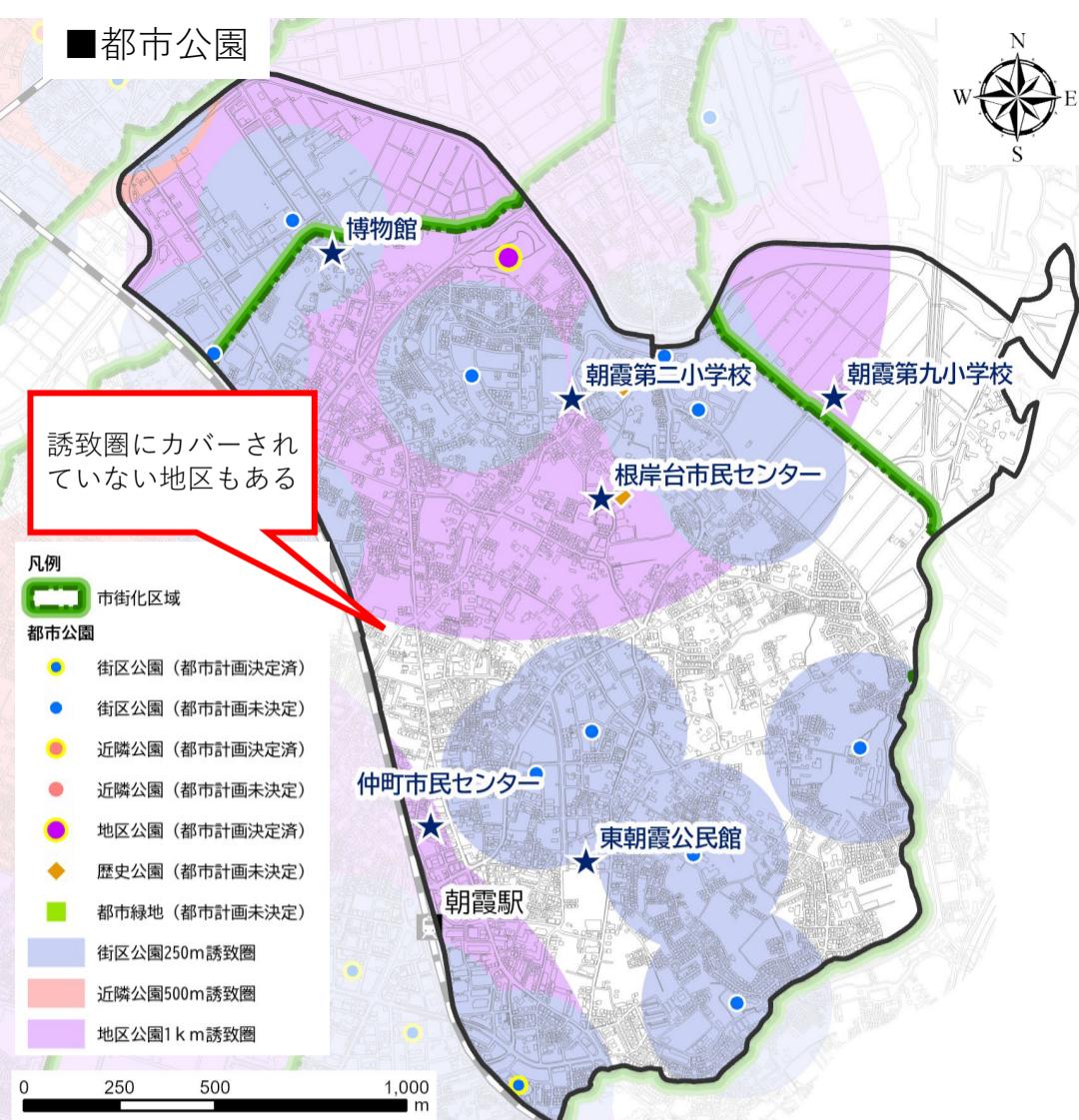
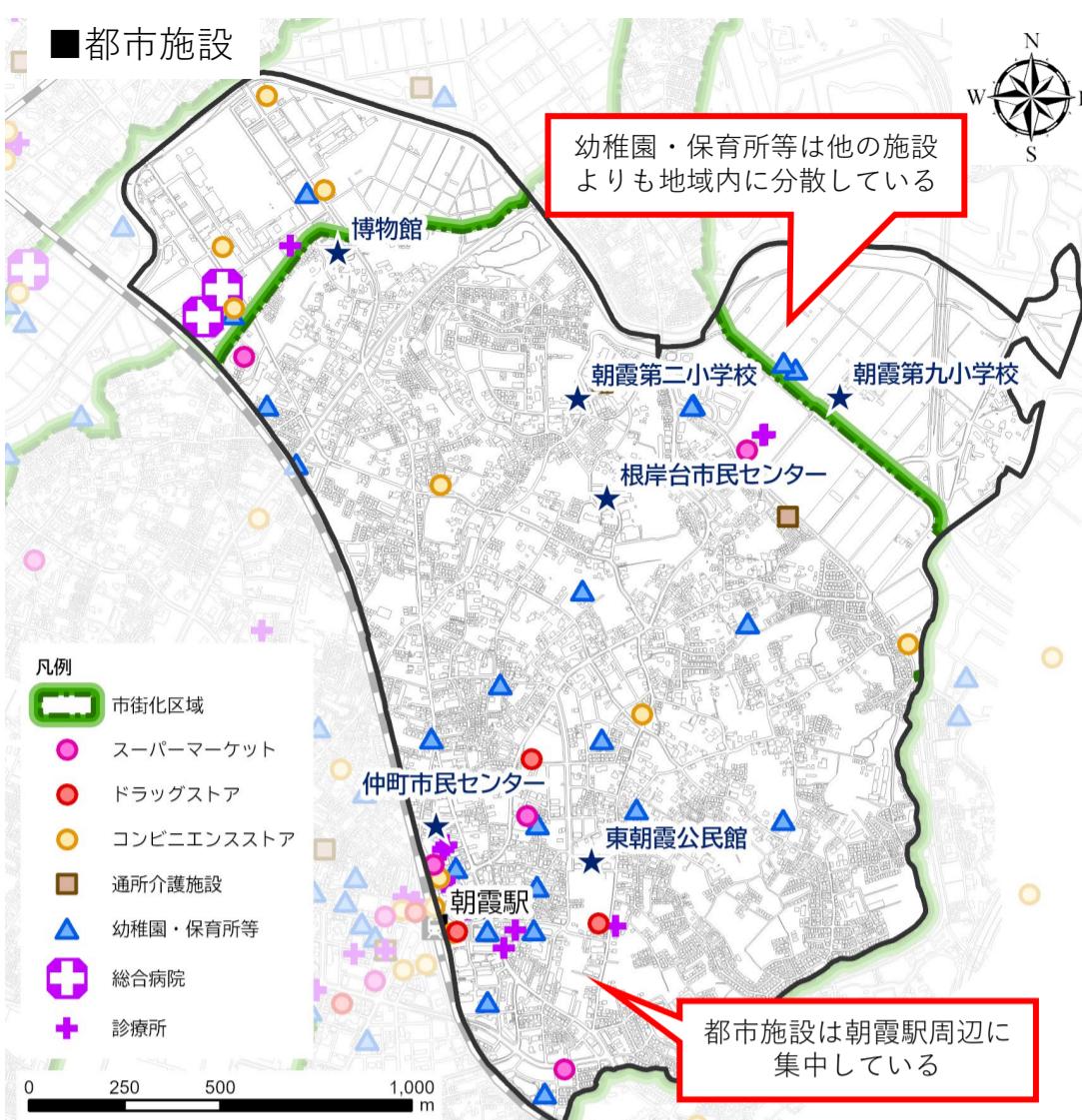


凡例



3

暮 賑 都市機能

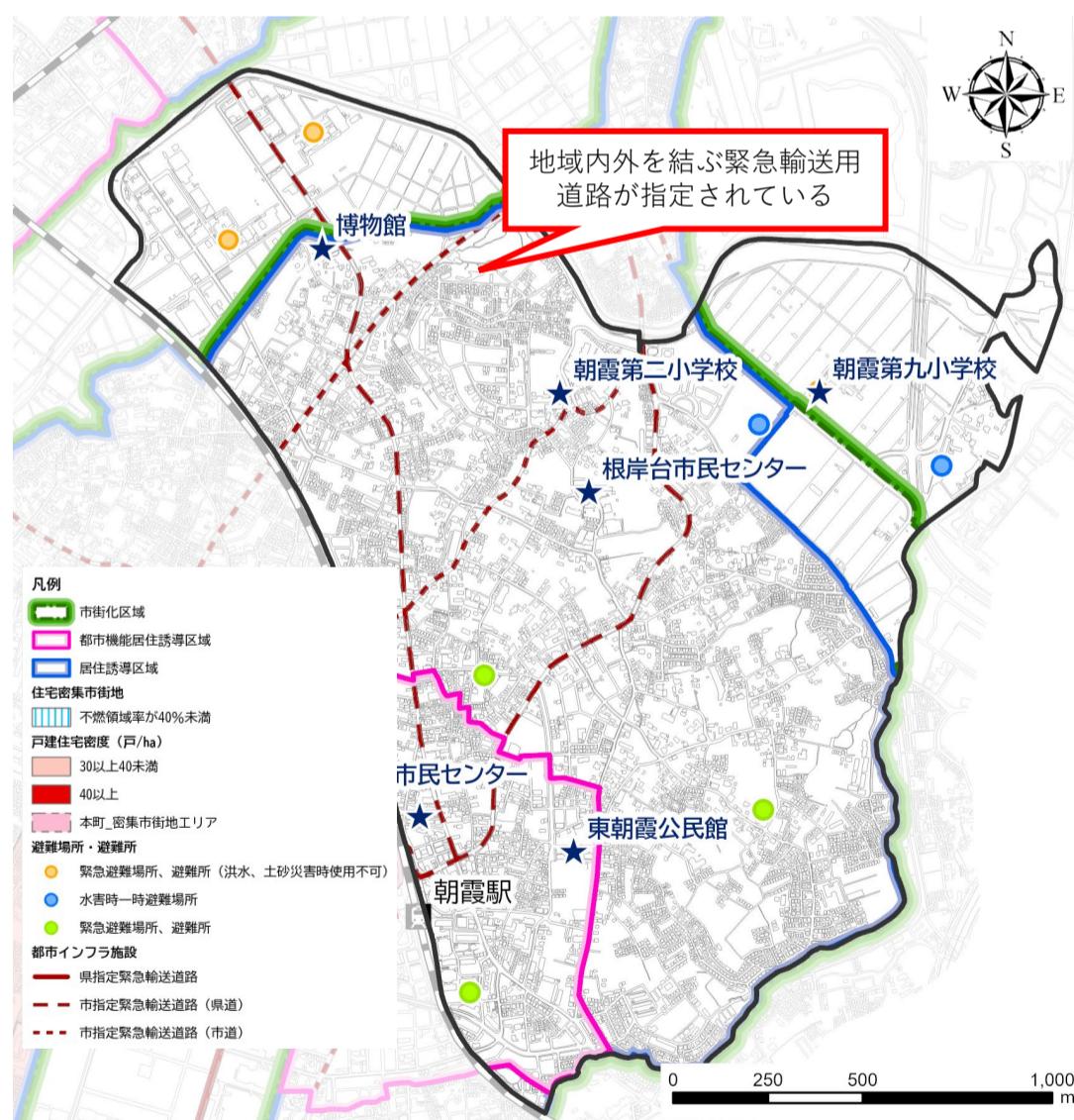


(出典：朝霞市立地適正化計画)

(出典：朝霞市資料)

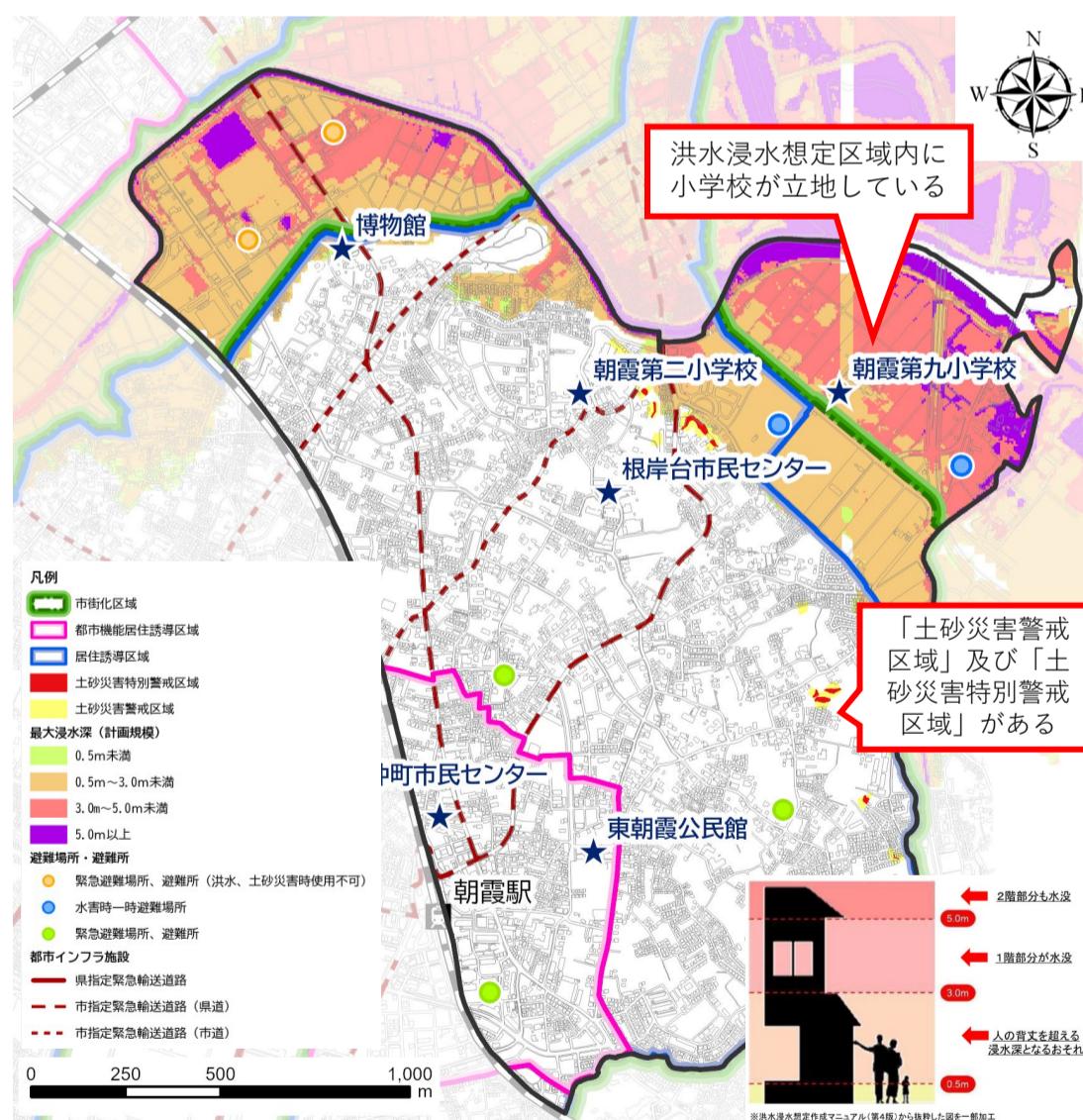
安 ハザードマップ

■住宅密集市街地 (地震や火災が起きたときにリスクがあるエリア)



(出典：朝霞市立地適正化計画、朝霞市資料)

■洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域



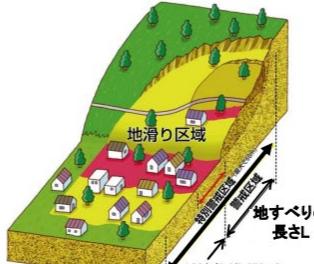
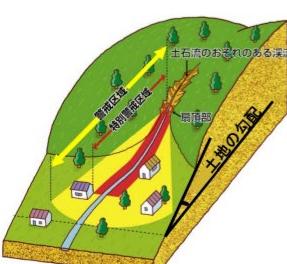
(出典：朝霞市立地適正化計画、朝霞市資料)

- ・**最大浸水（計画規模）**とは、100～200年に1回程度の規模の降雨の想定して害範囲を示したもの

土石流
※山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一緒にとなって流下する自然現象

地滑り
※土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

急傾斜地の崩壊
※傾斜度が30°以上ある土地が崩壊する自然現象



- ・大雨などの水害時に発生する土砂災害には、主に土石流、地滑り、急傾斜地の崩壊（かけ崩れ）があり、これらのリスクがある区域を**土砂災害警戒区域**や**土砂災害特別警戒区域**といいます。

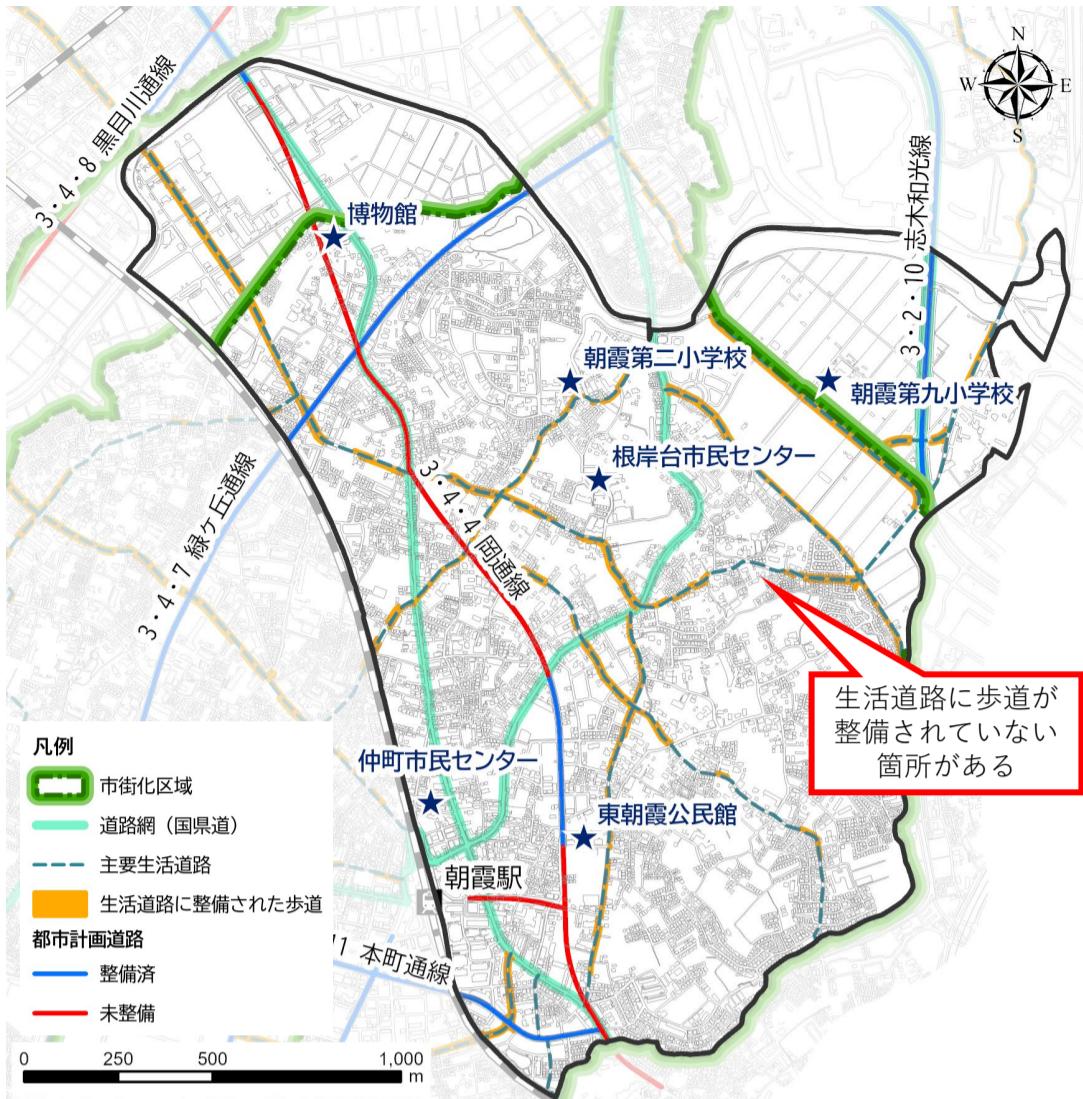
(右図参照)

(出典：国土交通省、朝霞市立地適正化計画)



移 道路の整備状況

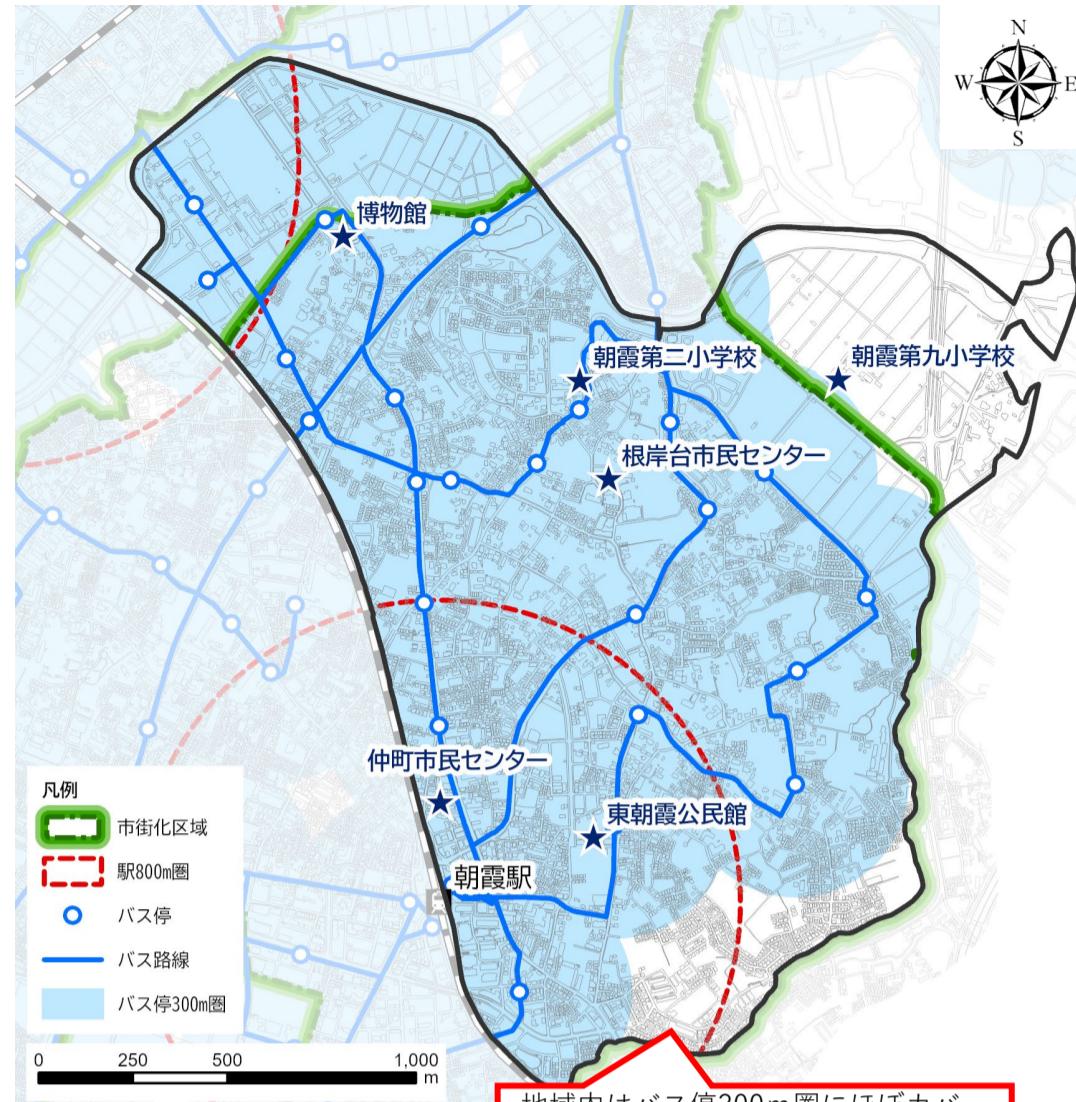
■道路網及び都市計画道路整備状況



(出典：朝霞市資料)

移 公共交通

■公共交通

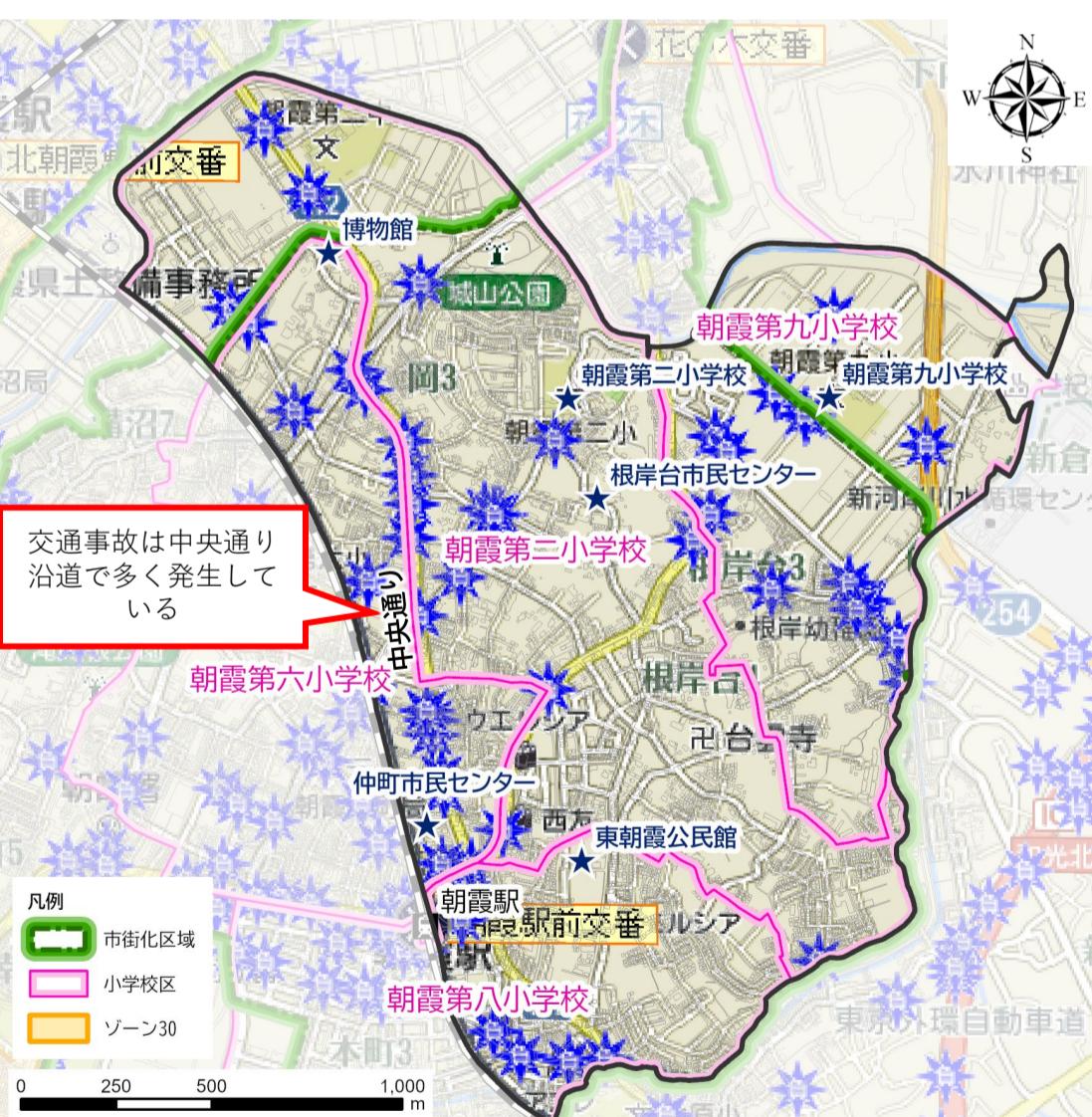


(出典：朝霞市立地適正化計画)

地域内はバス停300m圏にほぼカバーされているが、根岸台7丁目は一部空白地区が存在する
(現在わくわくワゴン実証運行中)

移 市道事故

■交通事故発生箇所の分布 (R5.6—R6.6)



(出典：埼玉県交通事故マップ)